

## このプロジェクトが自分のまちにもあったらいいなと思ったら・・・

どこから始めることができるか、どうやったらできそうか、一緒に考えるので連絡ください。  
きっと、3人集まったら始められます。

### 町中の、いろいろな人に協力してもらおう!

子育てしている母親たちから始めた活動を、行政や企業にも応援してもらって、  
いろいろな世代の、男性も、女性も  
ちょっとしたことからでも、関わられることで、つながっていく

## 公(おおやけ)の場を、自分たちで開いていくために話し合う

集まってきた子ども服は、まだ誰のものでもない、天からの贈り物。  
ちょうどいい子どもに届くといい、必要な人に届けたい。

・安心できるルールはつくろう

・知らせていくために・・・

配布チラシ、SNSでのインフォメーション、掲示物、  
会場でのインフォメーション、個別の声のかけ方、など・・・

・小さな声を無かったことにしない・・・

「たくさん抱えて選ぶことはやめよう」、「早いもの勝ちではなくて、相談して決めよう」など、  
開催しながら時々起こる課題に出会うたび、「誰もが参加できる場所」「みんながうれしい場所」に  
するには、どうやったらいいか悩み、話し合い、今も試行錯誤しながらやっています。

## 話し合える仲間がいる、協力しあえる人とのつながり、安心が感じられる地域に!



# 「おおきくなったね!× おおきくなってね!」 子ども服交歓会プロジェクトのご案内



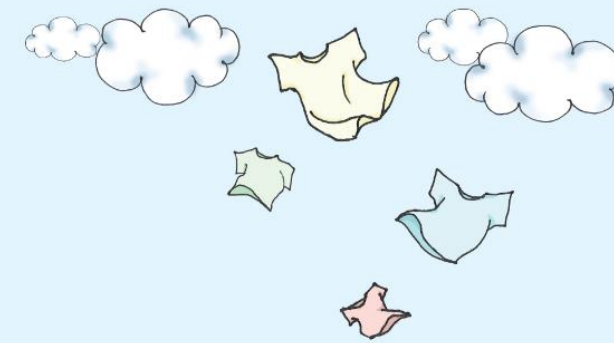
この2つのTシャツは、年齢の違う2人の子どもの姿。  
お互いに「おおきくなるのがうれしいな」の姿。

「おおきくなったね!」って、成長を喜ぶ気持ちとともに、  
着られなくなった洋服を、次におおきくなる誰かへ、  
「おおきくなってね!」と、渡していく。

うれしい気持ちの「ハイタッチ」の中で、子どもたちはおおきくなっていく。

うれしい気持ちの橋渡しが、  
「おおきくなったね!×おおきくなってね!子ども服交歓会プロジェクト」の  
真ん中にある大事なこと。

“子どもから子どもへ”うれしい気持ちをつなげていくことを表しています。



集まってきた子ども服は、まだ誰のものでもない、天からの贈り物

ちょうどいい子どもに届くといい、必要な人に届けたい、オシャレを楽しめるといい。  
みんなが嬉しい場所をつくるには、「どうやったらできるかな」と考えながらやっています。

## 認定NPO法人彩の子ネットワークの活動 ～子育てから新しい価値の創造へ

「あなたが大切、だからあなたの子育てが大切」と、1999年「彩の国さいたま子育てネットワーク」として発足し、2002年にNPO法人、2018年に認定NPO法人となり、上尾市・さいたま市を中心に、埼玉県域をベースに活動中。

子育てしている母親が、安心して自分の思いを声に出せる「子育てサロン」を毎月1回、20年開き続けています。人と人がつながること、子どもも大人もひとりひとりが思いきり生きられることを大切に「みんなで子育て」の地域社会へ向けて、子ども虐待予防、あらゆる世代の孤立防止を目的に、育つときも老いるときも安心な地域社会をつくりたいと活動しています。

具体的には、地域子育て支援拠点「さいたま市子育て支援センターみぬま」と「上尾市つどいの広場あそぼうよ」を運営。毎年3月に、個人・団体・企業に呼びかけ、1万人の参加がある「こども☆夢☆未来フェスティバル」を開催。「子育て・孫育て・保育ボランティア」講座の企画や講師派遣なども行っています。



### ◆問い合わせ◆

認定NPO法人彩の子ネットワーク 代表 関昌美・鈴木玲子

〒362-0017 上尾市二ツ宮1156-3

Tel:048-770-5272 fax:048-770-5270

E-mail:office@sainoko.net http://www.sainoko.net



彩の子ネットHP

# 「おおきくなったね！ × おおきくなってね！」子ども服交歓会プロジェクト 大かいぼう！！

## 子ども服交歓会のはじまり

母親同士が知り合いにならなければ、お下がりをまわせない、まわって来ない、という今の時代。「DVで避難した方へ、子ども服をもらえないか」という話があり、子ども服を集めて届けたところから、「ベビーグッズバンク」として始まった。

そして、このプロジェクトの転換点になったのは、ひとりの中学生の女の子の

## 「ただお下がりをもらうって、ちょっとさみしいよね」

という発言から。

## 「お下がり」のイメージを刷新！

「おおきくなったね！ × おおきくなってね！」という気持ちの交換が生まれるプロジェクト名がついて、多くの人に親んでもらえるよう、ロゴをつくり、オシャレにディスプレイ！

あったかい気持ちが生まれる、うれしい場所をみんなでつくろうと、「おおきくなったね！ × おおきくなってね！」子ども服交歓会プロジェクトが始まりました。

2017年9月から、毎月1回開催しています。



## 子ども服交歓会の開催

1回の交歓会で約2000点の洋服たちが次の子どもに届いていっています。駅コンコースでの開催は、広く活動を知ってもらえる。通りがかった人が、参加者やボランティアになることも。

洋服やグッズを選んだら、10点ごとにお渡し場所にもっていく。お渡し場所で、お渡しカードと、アンケートに記入して、紙袋に入れてもらったら持って帰れます。



年配世代も手にとって「かわいいわねえ」と嬉しそう



子ども服を預かる場所では、洋服の思い出を大事に、話ができる場に



スタッフと一緒に洋服を選んで会話ができた



ママ同士おしゃべりしながら洋服を選んだり



会場でのインフォメーション

交換する洋服を持ってこなくてもいい！

無料で預かってもらえて、無料でもらっていい！

子どもが着た服をまた誰かに着てもらえるってうれしい！

自分がコーディネートした服を、一揃いそのまま欲しいと言われると、とてもうれしい！

お下がりをオシャレに！

物のやりとりだけでなく、気持ちのやりとりを大切にするには、お金を介在しないでやりたい！

サイズアウトした子ども服を「渡せる場所がある」ってスゴイ！

いつも、もらう側だけにいるのではなくて役に立ってうれしい

イベントの準備をするのが好きなので、いつでも呼んでください。こういうのがやりたかったんです(男性)

誰でも、いつでもどんなことからでも参加できる！

いろんな人がボランティアする側になれる

お金に換えることのできない大事なこと

# ストレスをボランティアで！

ここでなら今、ちょうどいいサイズを選べる

とにかく助かる！

子どもはすぐに大きくなるから、新生児～160cmの洋服を扱おう

コーディネートした一揃いそのままをもらえるのがうれしい

たくさんもらったから手伝います！(当日参加者)

自分には子どもはいないのですが、可能な時は、力仕事を手伝いたい(男性)

リメイクスタイ作りをしています。いろいろな柄の布を組み合わせるのが楽しい

子連れで洋服の仕分け作業に参加した。音楽を流しながら作業する中、子ども同士、もめたりしながらも顔見知りになっていく。関係ができていって安心になっていく

## こんにちは赤ちゃんの洋服交歓会

妊婦さん等が対象の交歓会。落ち着いた雰囲気の中、助産師さんに相談したり、子育て支援の情報も得られます。

預かった洋服で、汚れや傷みがあるものは、赤ちゃんのほっぺをイメージしたオリジナル型紙でスタイにリメイク！交歓会で妊婦さんにプレゼント



## 子どもだけが選ぶ時間

子どもが自分の好きを言えるって大事

大人の干渉がなく、着たい服を自分で選べるって、その子自身の表現を豊かにする。



## 「自分の洋服」に

ロゴの入ったネームタグも配布しています。自分の名前が書けます。



## 「たね！ × てね！ 劇場」 交歓会で生まれたエピソードを劇にしました

- ① こうして洋服たちがあつまってくる
- ② 電車柄のTシャツ
- ③ ふくちゃんのくつ
- ④ ひとつの浴衣をふたりの女の子がほしくなったら
- ⑤ これ全部でカッコイイ!!初めてのコーディネート
- ⑥ 同じおもちゃが気になって



①



②



③



④



⑤



⑥

「おおきくなったね！ × おおきくなってね！子ども服交歓会」の紹介動画をYouTubeにアップしています！



交歓会があることで、人とのつながりがうまれる！みんなが安心して子育てできるまちになる！あなたのまちでも、始めてみませんか？